

指定管理者制度

指定管理移行

本谷温泉の現状は？

(リベラル西条)

問

本谷温泉に指定管理者制度が導入され、5か月余りが経過する中、湯の温度が一定していないとか、レストランでは味が良いが料理を出すのが遅いなどの意見が寄せられているが、ポイラー施設や厨房の改善などの必要はないのか。

また、温泉館の運営等に当たり、地元自治会との連携は取れているのか。



地域とのコミュニティづくり

答

指定管理者制度への移行後、サービス向上に非常に努力しているところであるが、細かい機械の操作、即時的な対応等々についてじゅうぶん習得していない部分があり、若干問題点が指摘さ

れている。

ただ、接客マナーについては、多くの方々から、非常に良くなったと好評であり、レストランについても、今後、経験を重ねる中で改善されるものと考えている。

今後サービスについては、利用者の意見を聞く中で、指定管理者と協議しつつ改善努力を怠らないようにしたい。

自治会との連携については、地元主催の行事などに、指定管理者側からも参加しつつ、自治会の意見や要望等を反映させ、適正な運営を図りたいと考えている。

第3セクター

見直してはどうか？

第3セクター

(日本共産党西条市議団)

問

西条産業情報支援センター(サイクス)は、第3セクターとして存在しているが、現在の政治的情勢や複雑性を増す経済情勢下、指定管理者制度に見られるように官から民への移行が強調され、より民間主導が提唱されており、第3セクターは日ごと存在感が薄くなっている。より客観性のある産業政策の推進のためにも、これを解消すべき時期が来ているのではないかと思うが、どうか。

答

基本的に第3セクターは、公益的な目的で官民が協力して長所を出し合うことで、良い

成果が地域住民のために生じるという発想から生まれたものと考えている。

サイクスにおいてははずばらしい人材が集まっており、この数年来非常に大きな成果を挙げているところである。市では非常に大きな推進エンジンを獲得したものと認識しており、もはやこのエンジン抜きに考えることができない。

今後も地域の産業振興を核としたまちづくりの推進のため、サイクスと連携したい。西条市の産業政策の実施部門としてさまざまな活動を願いたいと考えている。

施設管理

安全・快適な

市民公園の利用を！

(日本共産党西条市議団)

問

公園は、市民が安全・安心で心地よく利用したいものであるが、西条市民公園内のテニスコート関係施設の改修や、西条児童館の利用者の安全対策についての考えを問う。



市民公園内のテニスコート

答

市民公園テニスコートの休憩施設や駐輪場に関して、これまでその増設要望はなく、テニスコートを使用している団体に確認をしたが、関係者からも増設を求める要望はなかったことから、現時点での増設の考えはない。

また、公の施設における児童の安全対策については、警察署や交番等との連携を密にして、常に安全確保に配慮している。

不審者の侵入など、緊急時の安全対策の必要性は強く認識しており、本年度において緊急通報装置が未設置であった、すべての小学校・児童館・放課後児童クラブ等の児童関連施設に設置したところである。

特に、西条市児童館は「まもるくんの家」として位置付けられており、近くの交番による1日1回の巡回のほか、緊急時には同装置による通報で、パトカーが急行し、利用者の安全確保を図る体制となっている。

プール監視員の救助能力は？

(無会派)

問

埼玉県ふじみ野市の市営プールでの女児死亡事故以来、プールの安全管理については、施設面だけでなく監視員についても問題提起がなされている。

監視員にはプールサイドで事故防止を図るとともに、事故発生時には的確な方法で一刻も早く救助することが求められている。

当市の公営プール・学校プール

での監視員の状況について問う。

答

運動公園プールは、(財)西条市体育協会へ業務委託しているが、従事者にはオーブンに先立ち、業務要領・心得をもとにした講習に併せて、救命救急講習も実施している。

学校におけるプール開放時の監視は、保護者・教職員が中心となっており、事前の救命救急講習や救助訓練も実施している。

これまでもプールの安全管理には努めてきたが、ふじみ野市の市営プール事故を受け、直ちにプール従事者全員がいつそうの安全管理意識を持ち、日常管理に当たるよう、指導徹底したところである。

今後、業務心得や管理業務の再点検を行い、それに基づく従事者の指導強化を図るとともに、救助訓練を充実させて安全管理に努めていきたい。



より安全な施設管理を目指して!!